

令和7年度 公共事業再評価調書

1. 事業説明シート

(区分) 国補 県単

事業名	道路事業〔緊急道路整備改築事業（国補）〕		事業箇所	甲州市塩山上萩原裂石	地区名	国道411号（裂石工区）	事業主体	山梨県
計画期間	当初計画	現計画	④特記事項（関連事業概要等）					
	R2～R7	-						変更計画
総事業費	800 百万円	-	上萩原Ⅰ期 L=3,060m W=6.0(8.0)m S63～H9					
①事業の概要			上萩原Ⅱ期 L=2,600m W=6.0(8.0)m H9～H21					
			上萩原Ⅲ期（1工区）L= 760m W=5.5(7.0)m H22～H26					
			上萩原Ⅲ期（2工区）L=1,200m W=5.5(7.0)m H25～R3					
①事業目的及び効果			⑤これまでの評価状況（令和元年度事前評価）					
国道411号は、東京都八王子市を起点として山梨県甲府市中央に至る延長約120kmの幹線道路であり、第一次緊急輸送道路の役割とともに国道20号の代替機能を担う重要な路線である。 しかし、甲州市塩山上萩原裂石地区は、甲州市側に残された未改良箇所であり、日本百名山の一つである大菩薩嶺の入口にもかかわらず幅員は狭小で道路の線形が悪いため、主に観光バス等の大型車同士のすれ違いが困難であり、また、豪雨時には土砂の流出などによる通行規制も発生していることから、交通の円滑化向上や安全性確保のため、早急に道路整備を進める必要がある。								
□主要目標			②事業概要					
○災害に強い道路の確保 危険度（落石等）：要対策・要監視箇所あり 損傷度等（落石等）：通行止めの実績（過去3年間）2回≥2回以上※ 緊急輸送道路の指定：指定有り（第一次緊急輸送道路） 自動車交通量：1,693台/12h<3,340台/12h以上（平日）※ （H27セガ）※評価基準値								
□副次目標			③全体計画					
□副次効果								
○アクセス機能の維持 （通行止による迂回に2倍以上の時間が必要となる道路である。）			⑥事業位置図等					
道路改良 L=650m、W=車道6.0（8.0）m 橋梁 L=19.9m								
③全体計画			⑥事業位置図等					
現計画	工事内容	令和6年度まで	令和7年度（評価実施年度）	令和8年度以降				
		測量調査設計 道路・橋梁詳細設計 用地補償 橋梁工事 道路改良工事	道路改良工事					
変更計画	工事内容	750 百万円	50 百万円	測量調査設計 道路・橋梁詳細設計 用地補償 橋梁工事 道路改良工事				
		事業費	414 百万円				160 百万円	476 百万円

※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。

【上萩原Ⅲ期バイパス】
1工区 L=760m H22～H26
2工区 L=1,200m H25～R3

【上萩原Ⅱ期バイパス】
L=2,600m H9～H21

【上萩原Ⅰ期バイパス】
L=3,060m S63～H9

【裂石拡幅】
L=650m R2～R11

凡例
今回事業評価箇所
既整備箇所

2.評価シート（1）

（1）事業を巡る社会経済情勢等の変化

（今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容）

①地域・住民の意向状況

変化なし

②産業・経済情勢

労務費・建設資材費の上昇

③国等の方針

変化なし

④上位計画・関連事業計画等

- ・山梨県総合計画（令和5年10月改定）
- ・山梨県強靱化計画（令和6年3月改訂）
- ・山梨県社会資本整備重点計画（第四次）（令和4年9月改定）
- ・山梨県道路の整備に関するプログラム（令和7年3月改定）
- ・甲州市景観計画（平成25年4月施行、令和2年10月変更）

⑤自然環境条件等

変化なし

⑥その他

変化なし

（2）評価時点の費用対効果分析

項 目		着手時点		変更計画時点	
総事業費		800	百万円	1,250	百万円
工 期		R2～R7		R2～R11	
経 済 効 率 性	評価基準年	R1		R7	
	費用	709	百万円	1,035	百万円
	建設費	631	百万円	956	百万円
	維持管理費	78	百万円	79	百万円
	その他(	0	百万円	0	百万円
	便益	776	百万円	1,266	百万円
	走行時間短縮	451	百万円	780	百万円
	走行経費減少	21	百万円	155	百万円
	交通事故減少	1	百万円	22	百万円
	その他※	303	百万円	309	百万円
B/C		1.1		1.2	

費用便益分析マニュアルにより算出 採択基準値1.0以上

※その他は、通行規制解消便益、災害解消便益、救急救命率向上便益、観光客増加便益

（3）これまでの計画変更等の概要

なし

評価シート（２）

（４）事業進捗状況及び見込み

①進捗率

別表のとおり。

R7年度進捗率（現計画）100.0%→（実績）71.8%→（変更計画）54.7%

②進捗率実績が計画と相違している理由

用地取得に時間を要したこと、地質調査の結果により補強土壁工に地盤改良工（ルートパイル工）を追加したことにより、当初計画から遅れが生じた。

③総事業費の変更内容

変更工種等	事業費増減	変更理由
擁壁工	250百万円 増	地質調査の結果、擁壁工の支持層となりうる地層が深いことが判明したため、地盤改良工（網状鉄筋挿入工）を追加したことによる増額
合 計	250百万円 増	

④事業期間の変更理由及び進捗予定

用地買収に遅れが生じ工事着手が当初想定より遅れたこと、想定地質の相違による追加工種に伴い工事費が増大したことにより、工期を4年間延長する。全ての用地を取得していることから、工事進捗を図り令和11年の完成を予定している。

⑤今後の事業執行における留意点

計画的な工事発注を行うことで、事業進捗及び工期短縮を図る。

（５）環境負荷等への配慮

なし

（６）コスト縮減の可能性

なし

（７）代替案立案の可能性

なし

（８）所管部の今後の方針 継続・見直し継続・その他（ ）

（理由）

整備効果を早期に発現させるため、変更計画に基づき継続的に事業を実施して令和11年度の完成を目指す。

○別表-進捗率（事業費ベース）

算出方法：【上段】現計画の計画事業費／総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費／総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費／総事業費×100

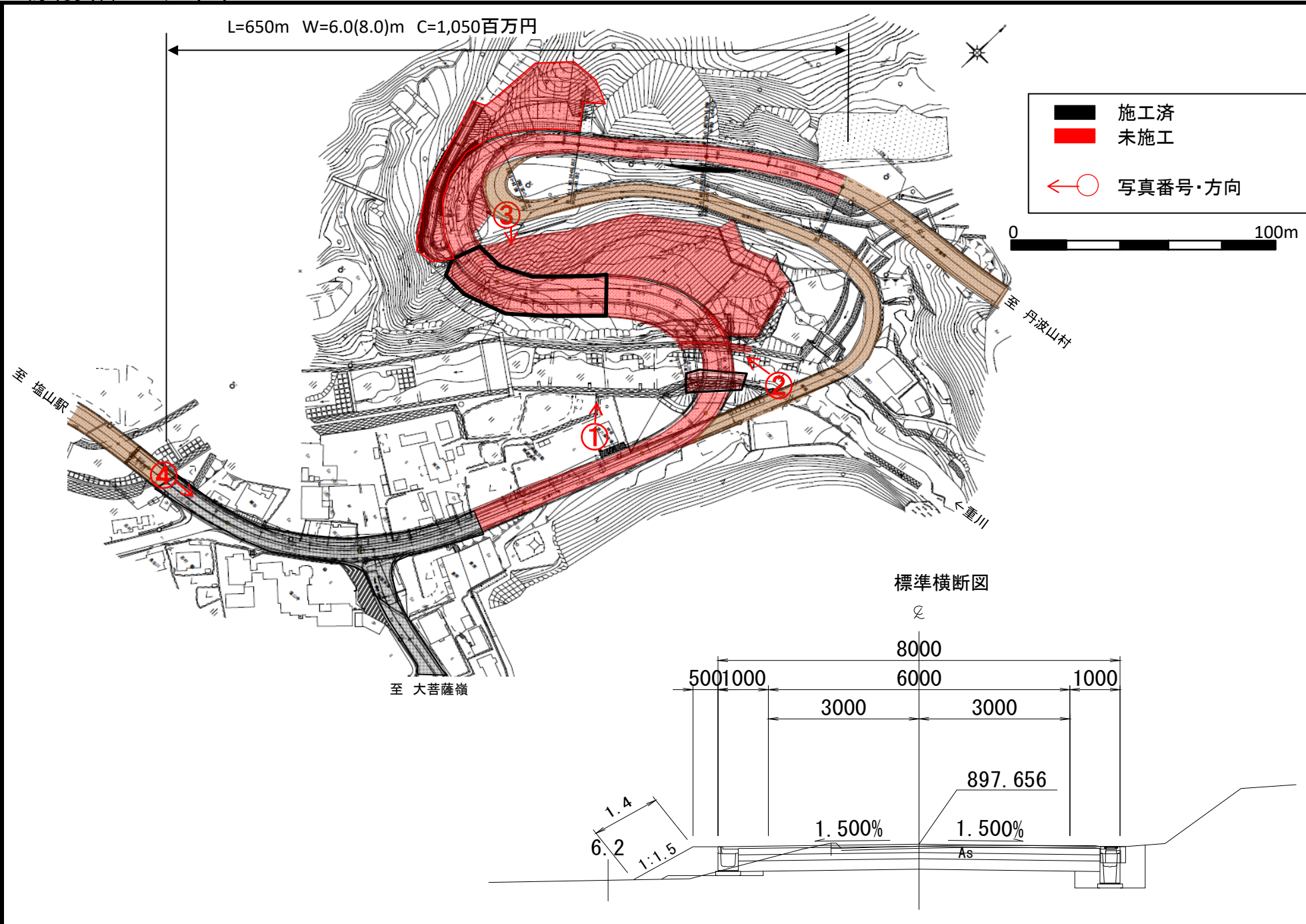
単位：％

	年度	*R2	R3	R4	R5	R6	*R7	R8	R9	R10	R11
現	計画	6.3	18.8	43.8	68.8	93.8	100				
	実績	0.6	2.0	12.5	31.9	51.8	71.8				
	変更計画						54.7	69.9	85.2	99.5	100

*事業着手年度又は評価年度

*R7年度の実績は見込み

3.添付資料シート（1）



3. 添付資料シート (2)



①工事着手状況全景



②擁壁工区間全景



③擁壁工施工状況

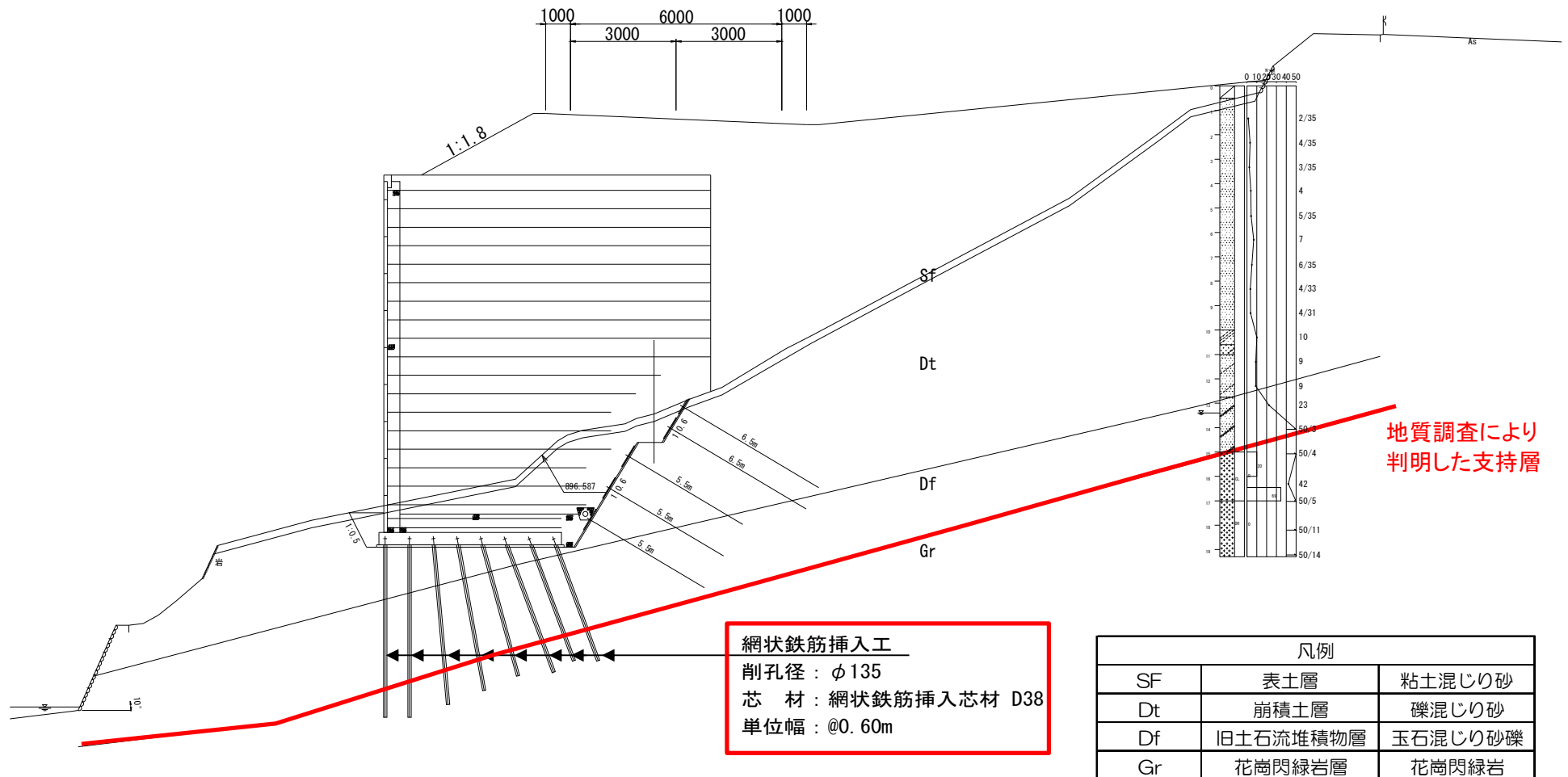


④改良済み区間の状況

3.添付資料シート（4）

変更内容 擁壁工 地盤改良工の追加

○地質調査の結果、擁壁工(補強土壁工)の支持層となりうる地層が深いことが判明したため、地盤改良工(網状鉄筋挿入工)を追加した。



4.年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

年度	変更事業費 (千円)	事業概要	進捗率 (%)
R2	5,190	現地測量	0.5%
R3	10,775	道路詳細設計 用地測量	1.5%
R4	84,177	道路詳細設計 橋梁詳細設計 用地補償	9.5%
R5	154,804	橋梁詳細設計 道路改良 用地補償	24.3%
R6	159,419	道路改良 用地補償	39.5%
R7	160,000	道路改良 橋梁工事	54.7%
R8	160,000	道路改良 橋梁工事	69.9%
R9	160,000	道路改良 橋梁工事	85.2%
R10	150,000	道路改良 橋梁工事 舗装工	99.5%
R11	5,635	道路台帳	100.0%
合計	1,050,000		